

# 第1 河川・ため池・海域の状況

## 1 公共用水域の水質常時監視結果

公共用水域の水質常時監視は、水質汚濁防止法第16条の規定により愛知県知事が作成した平成31年度公共用水域の水質測定計画及び市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例（「環境保全条例」という。以下同じ。）第10条に基づき実施したものである。

### (1) 調査期間

平成31年4月～令和2年3月

### (2) 調査項目

ア 水質汚濁防止法に基づく水質常時監視

〈河川・海域〉

生活環境項目	溶存酸素量（DO）、生物化学的酸素要求量（BOD）等12項目
健康項目	カドミウム、全シアン等27項目
要監視項目	ホルムアルデヒド、ニッケル等9項目
特殊項目	フェノール類、クロム等5項目
その他の項目	塩化物イオン、電気伝導率等12項目

〈底質〉

一般項目	pH、化学的酸素要求量（COD）等11項目
健康項目	カドミウム、全シアン等7項目
特殊項目	フェノール類、銅等6項目

イ 環境保全条例に基づく水質常時監視

水質の汚濁に関する項目	DO、BOD等11項目
水の安全性に関する項目	カドミウム、全シアン等27項目
その他の項目	塩化物イオン、電気伝導率等9項目

### (3) 調査地点数・調査地点

表1-1、1-2及び図1-1のとおり。

### (4) 測定方法・評価方法

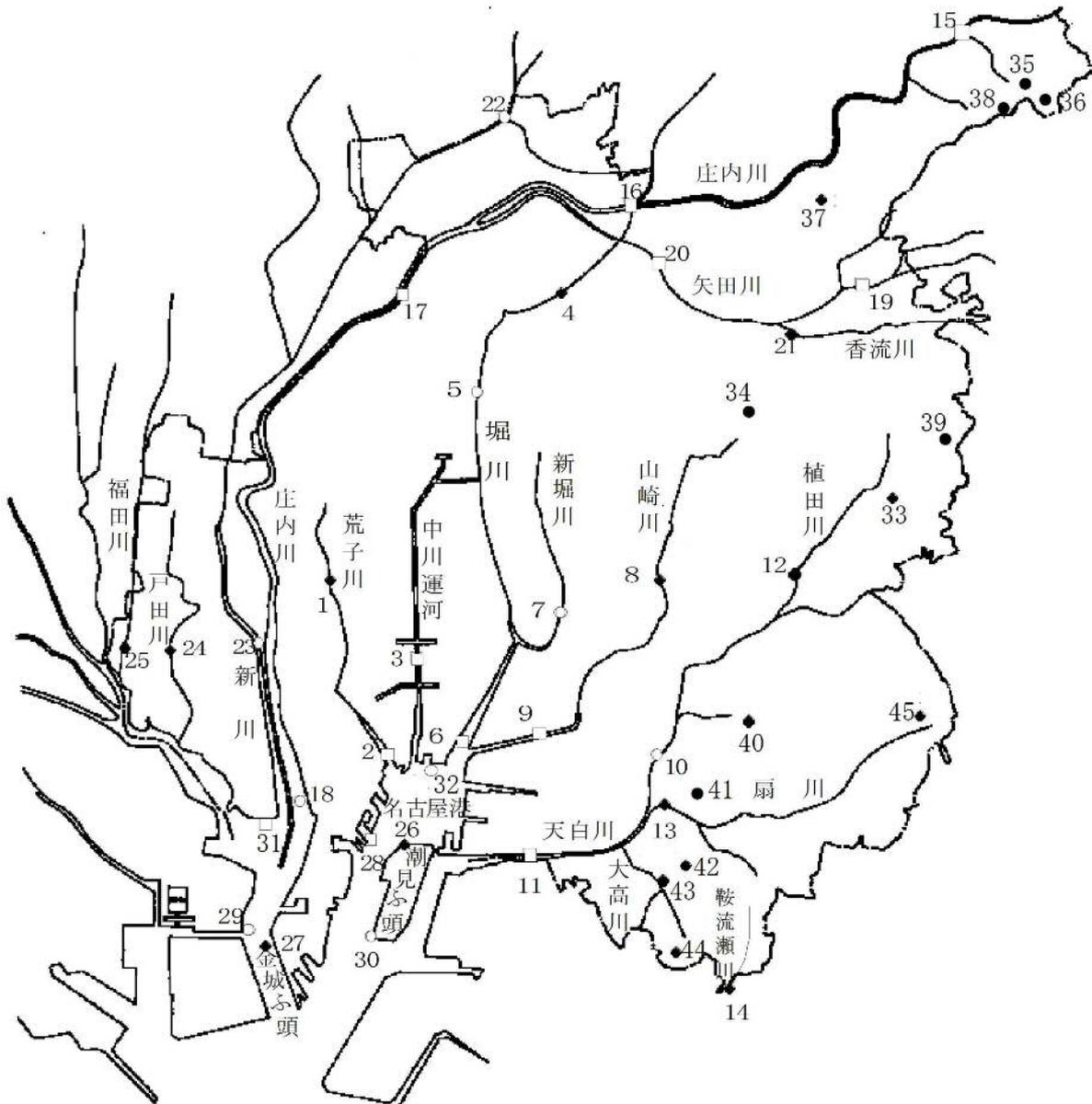
測定方法は資料1（p.48～p.49）に掲げる方法とする。

評価方法は、資料2（p.50～p.56）、資料3（p.57～p.59）に示す環境基準及び環境目標値により評価した。

生活環境項目のうち、「BOD、COD」の環境基準、環境目標値達成状況の判定は、環境庁の通達（水質保全局水質管理課長、昭和52年7月1日付け環水管第52号）、平成25年名古屋市告示第506号に従って、年間を通じた日間平均値の全データのうち、75%以上のデータが環境基準、環境目標値を満足している場合に適合しているものと評価した。なお、環境基準の評価において、複数の環境基準点がある水域は、全ての地点が環境基準に適合している場合に達成したものと判断した。

表 1-1 調査地点数

	水質汚濁防止法に基づく 調査地点数	環境保全条例に基づく 調査地点数	計
河川	16	9	25
海域	5	2	7
ため池	—	13	13
計	21	24	45



- 水質汚濁防止法に基づく調査地点のうち環境基準点
- 水質汚濁防止法に基づく調査地点
- 環境保全条例に基づく調査地点

図 1-1 公共用水域調査地点図

表 1-2 調査地点

水域名	調査地点		調査担当機関
	水質汚濁防止法に基づく調査地点	環境保全条例に基づく調査地点	
荒子川	—	1 境橋 (中川区)	名古屋市
	2 荒子川ポンプ所 (港区)		〃
中川運河	3 東海橋 (港区)		〃
堀川	—	4 猿投橋 (北区)	〃
	5 小塩橋 (西区・中区)		〃
	6 港新橋 (港区)		〃
新堀川	7 日の出橋 (熱田区・瑞穂区)		〃
山崎川	—	8 鼎 (かなえ) 橋 (瑞穂区)	〃
	9 道徳橋 (南区)		〃
天白川	10 天白橋 (南区・緑区)		〃
	11 千鳥橋 (南区・東海市)		〃
植田川	—	12 植田橋 (天白区)	〃
扇川	—	13 鳴海橋 (緑区)	〃
鞍流瀬川	—	14 梶田橋 (緑区)	〃
庄内川	15 大留橋 (守山区・春日井市)		国土交通省
	16 水分橋 (北区・守山区)		〃
	17 枇杷島橋 (西区・清須市)		〃
	18 庄内新川橋 (港区)		〃
矢田川	19 大森橋 (守山区)		名古屋市
	20 天神橋 (北区・守山区)		国土交通省
香流川	—	21 香流橋 (千種区)	名古屋市
新川	22 比良新橋 (西区・北名古屋市)		愛知県
	23 日の出橋 (中川区・港区)		名古屋市
戸田川	—	24 新東福橋 (港区)	〃
福田川	—	25 新西福橋 (港区)	〃

河川

	水域名	調査地点		調査担当機関
		水質汚濁防止法に基づく調査地点	環境保全条例に基づく調査地点	
海域	名古屋港	—	26 潮見ふ頭北（港区）	名古屋市
		—	27 金城ふ頭西（港区）	〃
		28 N-1 〈潮見ふ頭西〉（港区）		〃
		29 N-10 〈庄内川河口〉（港区）		〃
		30 N-11 〈潮見ふ頭南〉（港区）		〃
		31 N-14 〈藤前干潟〉（港区）		〃
		32 M-1 〈カネデンふ頭〉（港区）		〃
ため池	—	33 牧野池（名東区）	〃	
	—	34 猫ヶ洞池（千種区）	〃	
	—	35 大久手池（守山区）	〃	
	—	36 大村池（守山区）	〃	
	—	37 緑ヶ池（守山区）	〃	
	—	38 安田池（守山区）	〃	
	—	39 塚ノ杵池（名東区）	〃	
	—	40 戸笠池（緑区）	〃	
	—	41 新海池（緑区）	〃	
	—	42 琵琶ヶ池（緑区）	〃	
	—	43 蝮池（緑区）	〃	
	—	44 水主ヶ池（緑区）	〃	
	—	45 荒池（天白区）	〃	

注1 □数字は、水質汚濁防止法に基づく調査地点のうち、環境基準点である。

2 水質汚濁防止法に基づく調査地点の調査結果については、環境目標値による評価も行っている。

## (5) 調査結果概要

### ア 生活環境項目（水質の汚濁に関する項目）

生活環境項目については、45地点（15河川25地点、海域7地点、ため池13地点）でD O、B O D等12項目の調査を実施した。

#### (ア) 水質の状況（図1-3、1-4、1-5、表1-4、1-5参照）

##### a 河川

河川の水質の状況を代表的な水質指標であるB O D（生物化学的酸素要求量）で見ると、75%水質値が8mg/Lを超える水域は、中川運河、堀川下流部、戸田川であり、3mg/L以下の水域は、堀川上流部、山崎川上流部、庄内川中流部等であった。

平成30年度の結果と比較すると、中川運河（東海橋）、堀川下流部（港新橋）、山崎川下流部（道徳橋）等で悪化がみられた。

##### b 海域

海域の水質の状況を代表的な水質指標であるC O D（化学的酸素要求量）で見ると、75%水質値は1地点で8mg/Lを超え、3地点で5mg/Lを超え8mg/L以下であり、その他の3地点では3mg/Lを超え5mg/L以下であった。

##### c ため池

ため池の水質の状況を代表的な水質指標であるC O Dで見ると、75%水質値は2地点で6mg/L以下であり、その他の11地点は6mg/Lを超過した。

#### (イ) 環境基準及び環境目標値の達成状況（図1-3、1-4、表1-3、1-4参照）

各河川・海域・ため池には、場所によって区分した環境基準及び環境目標値が定められている。環境基準及び環境目標値については資料2（p. 50～p. 56）、資料3（p. 57～p. 59）のとおり。

##### a 河川のB O Dについて

(a) 環境基準 : 10水域のうち8水域で達成し、2水域で達成しなかった。

(達成率 : 80%)

(b) 環境目標値 : 25地点のうち20地点で達成し、5地点で達成しなかった。

(達成率 : 80%)

##### b 海域のC O Dについて

(a) 環境基準 : 達成（1水域/1水域）した。（達成率 : 100%）

(b) 環境目標値 : 7地点すべてで達成しなかった。（達成率 : 0%）

##### c ため池のC O Dについて

(a) 環境目標値 : 13地点のうち2地点で達成し、11地点で達成しなかった。

(達成率 : 15%)

(ウ) 河川、海域及びため池におけるBOD又はCODの推移（全市年間平均値）

河川、海域及びため池におけるBOD又はCODの全市年間平均値は、過去10年間では概ね横ばいで推移しており、令和元年度は、平成30年度と比較していずれも増加していた。

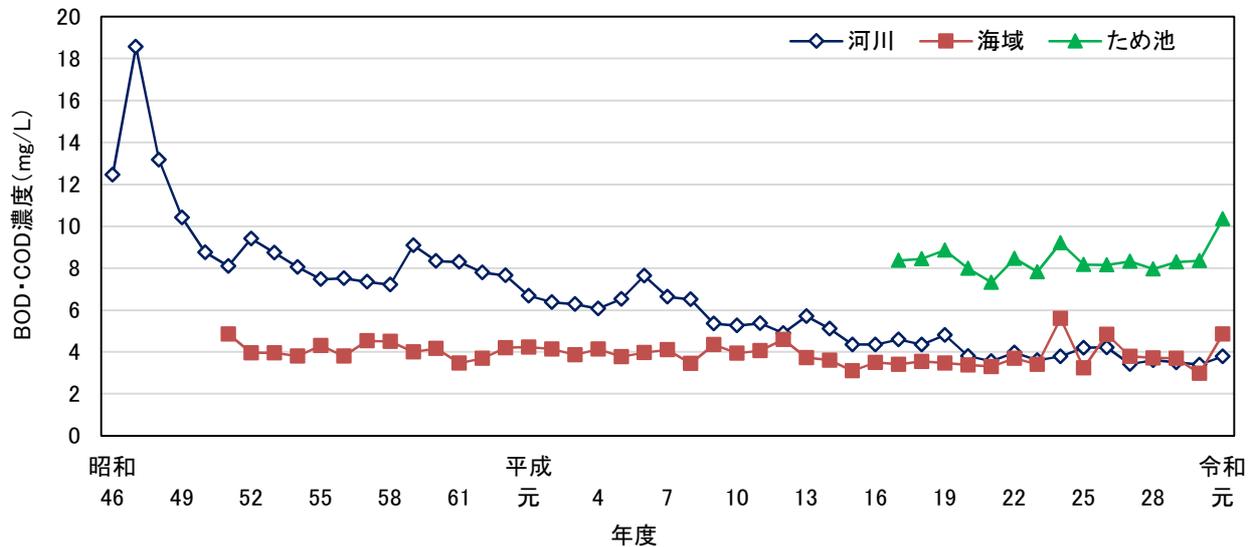


図 1-2 全市年間平均値（河川はBOD、海域・ため池はCOD）の推移

イ 健康項目（水の安全性に関する項目）（表1-12参照）

健康項目については、27地点（15河川22地点、海域4地点、ため池1地点）でカドミウム等27項目、1,424検体の調査を実施した。

結果は、26地点で環境基準及び環境目標値を達成したが、荒子川ポンプ所（荒子川）で1,2-ジクロロエタンが環境基準及び環境目標値を超過した。詳細は（9）荒子川における1,2-ジクロロエタンの環境調査結果について（p. 24）のとおり。

ウ 要監視項目（表1-13参照）

要監視項目については、12地点（7河川10地点、海域2地点）でホルムアルデヒド等9項目、107検体の調査を実施した。

エ 特殊項目（表1-14参照）

特殊項目については、13地点（7河川10地点、海域3地点）でフェノール類等5項目、95検体の調査を実施した。



表 1-3 環境基準の達成状況

(河川はBOD、海域はCOD)

(単位：mg/L)

	水域名	環境基準点	環境基準 類型	環境 基準	達成状況(年度)			
					平成 29	30	令和 元	75%水質値
河川	荒子川	荒子川ポンプ所	E	10	○	○	○	5.9
	中川運河	東海橋	E	10	○	○	×	17
	堀川	港新橋	D	8	○	○	×	8.7
	山崎川	道德橋	D	8	○	○	○	7.3
	天白川	千鳥橋	C	5	○	○	○	2.6
	庄内川 中流(2)	大留橋	D	8	○	○	○	1.3
		水分橋						4.6
	庄内川下流	枇杷島橋	D	8	○	○	○	4.1
	矢田川上流	大森橋	D	8	○	○	○	7.4
	矢田川下流	天神橋	D	8	○	○	○	3.4
新川下流	* 萱津橋	D	8	○	○	○	3.8	
海域	名古屋港 (甲)	N-1	C	8	○	○	○	6.8
		* N-2						4.8
		* N-3						4.1

注 \*印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

表1-4 環境目標値の達成状況

(BOD)

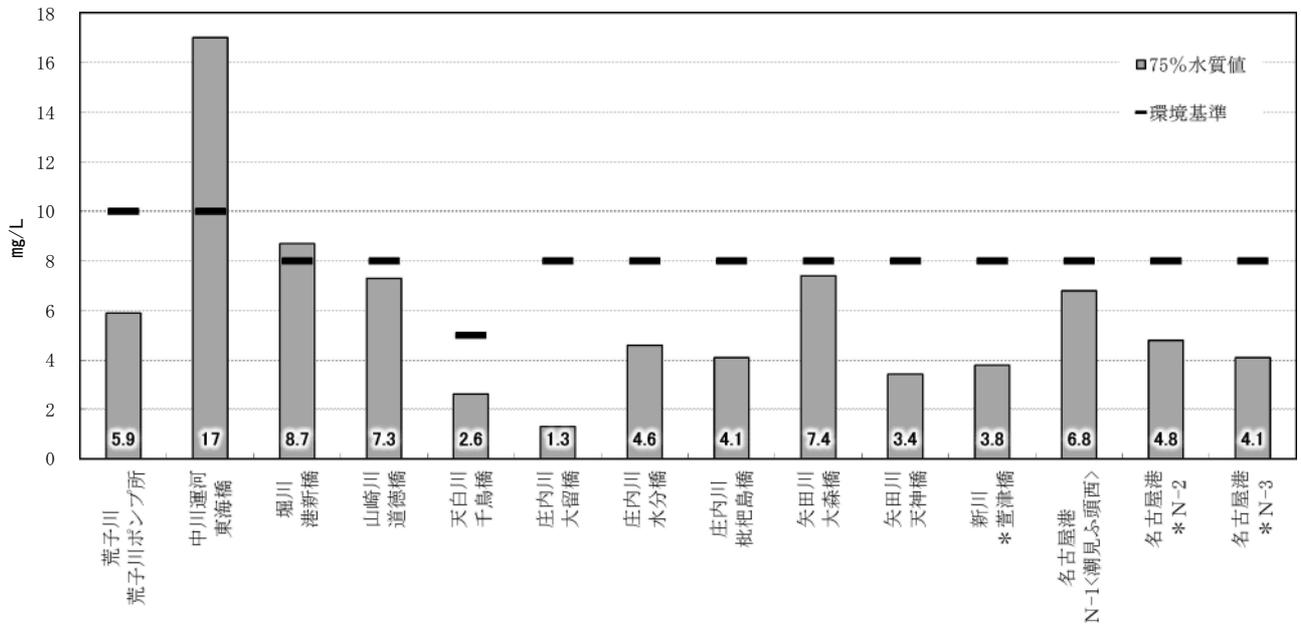
(単位：mg/L)

	水域名	調査地点	地域区分	環境目標値	達成状況(年度)			
					平成29	30	令和元	75%水質値
河川	荒子川	境橋	☆☆☆	3	○	○	×	4.3
		荒子川ポンプ所	☆	8	○	×	○	5.9
	中川運河	東海橋	☆☆	5	×	×	×	17
	堀川	猿投橋	☆☆☆	3	○	○	○	2.1
		小塩橋	☆☆☆	3	×	×	×	3.1
		港新橋	☆☆	5	×	○	×	8.7
	新堀川	日の出橋	☆	8	○	○	○	5.4
	山崎川	鼎(かなえ)橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.6
		道德橋	☆	8	○	○	○	7.3
	天白川	天白橋	☆☆	5	○	×	○	3.5
		千鳥橋	☆☆	5	○	○	○	2.6
	植田川	植田橋	☆☆☆	3	○	○	○	2.0
	扇川	鳴海橋	☆☆☆	3	○	○	○	2.0
	鞍流瀬川	梶田橋	☆	8	○	○	○	3.9
	庄内川	大留橋	☆☆☆	3	○	○	○	1.3
		水分橋	☆☆	5	○	○	○	4.6
		枇杷島橋	☆☆	5	○	○	○	4.1
		庄内新川橋	☆☆	5	○	○	○	2.3
	矢田川	大森橋	☆	8	○	○	○	7.4
		天神橋	☆	8	○	○	○	3.4
香流川	香流橋	☆☆	5	○	○	○	3.1	
新川	比良新橋	☆☆	5	○	○	○	2.4	
	日の出橋	☆☆	5	○	○	○	1.5	
戸田川	新東福橋	☆	8	×	×	×	13	
福田川	新西福橋	☆☆	5	○	×	○	4.9	

## (COD)

(単位：mg/L)

	水域名	調査地点	地域区分	環境目標値	達成状況(年度)			
					平成29	30	令和元	75%水質値
海域	名古屋港	潮見ふ頭北	☆	5	○	○	×	7.4
		金城ふ頭西	☆☆	3	×	○	×	4.3
		N-1 〈潮見ふ頭西〉	☆	5	○	○	×	6.8
		N-10 〈庄内川河口〉	☆☆	3	×	×	×	4.6
		N-11 〈潮見ふ頭南〉	☆	5	○	○	×	5.9
		N-14 〈藤前干潟〉	☆☆	3	×	○	×	4.3
		M-1 〈ガーデンふ頭〉	☆	5	○	○	×	8.2
ため池	牧野池	☆☆	6	×	×	×	10	
	猫ヶ洞池	☆☆	6	○	○	×	7.0	
	大久手池	☆☆	6	○	○	○	4.7	
	大村池	☆☆	6	×	×	×	7.7	
	緑ヶ池	☆☆	6	×	○	×	6.8	
	安田池	☆☆	6	×	×	×	12	
	塚ノ杵池	☆☆	6	×	×	×	11	
	戸笠池	☆☆	6	×	×	○	5.7	
	新海池	☆☆	6	×	×	×	14	
	琵琶ヶ池	☆☆	6	×	×	×	10	
	蝮池	☆☆	6	×	×	×	8.0	
	水主ヶ池	☆☆	6	×	×	×	11	
荒池	☆☆	6	×	×	×	13		



注 \*印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

図1-4 (1) 75%水質値 (河川はBOD、海域はCOD) と環境基準

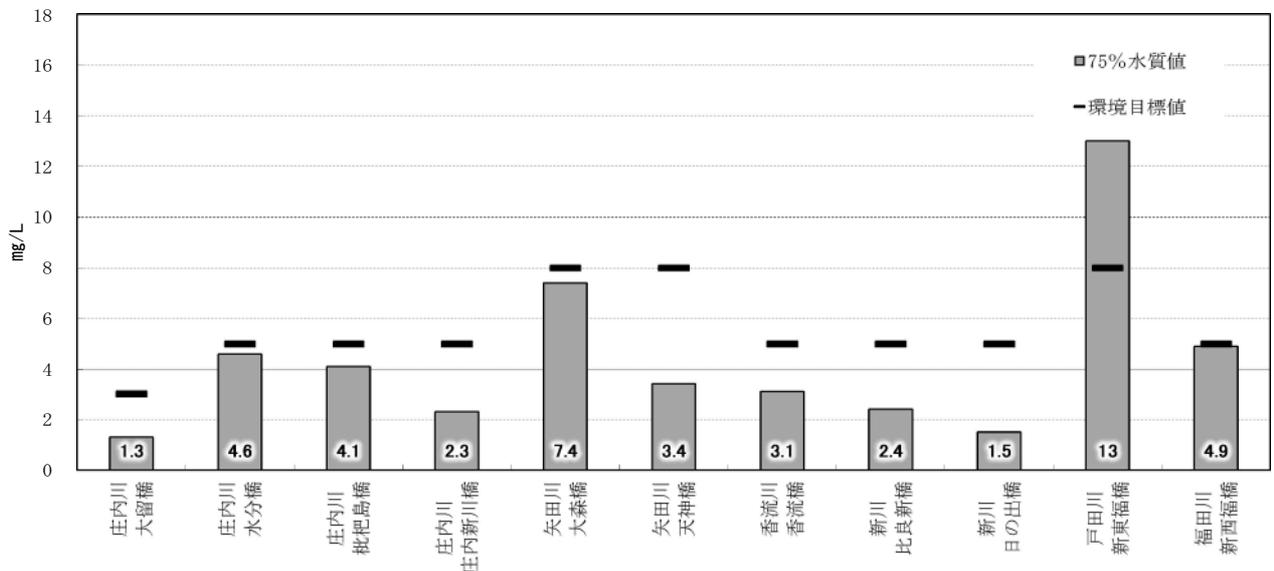
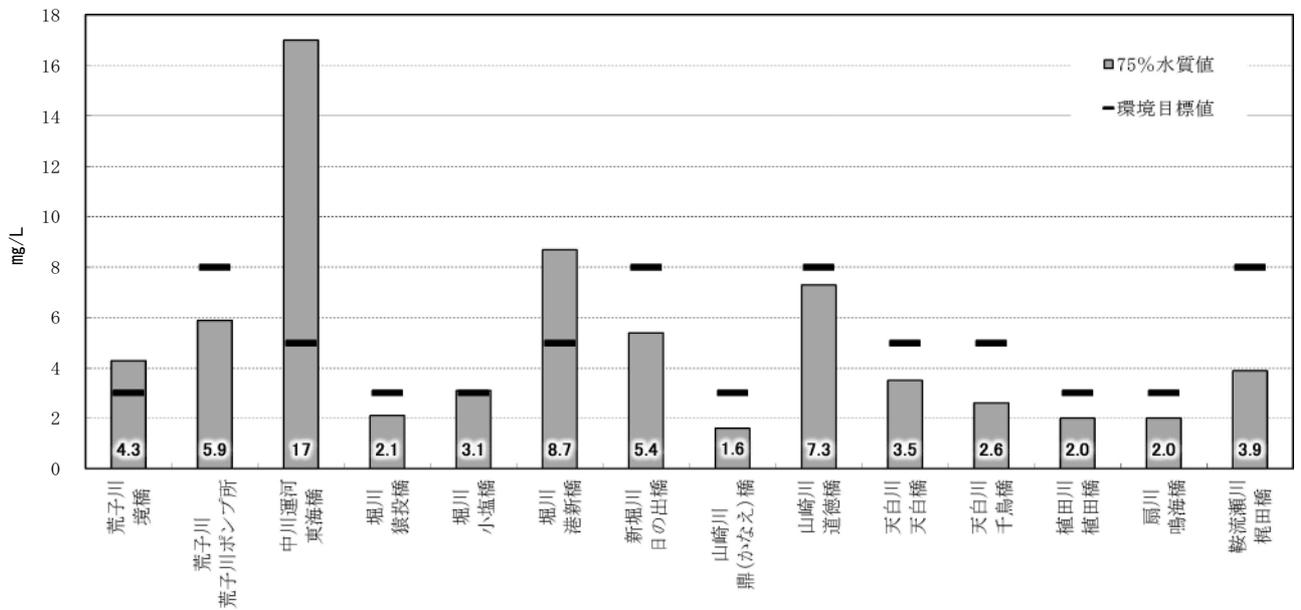


図1-4 (2) 75%水質値 (BOD) と環境目標値

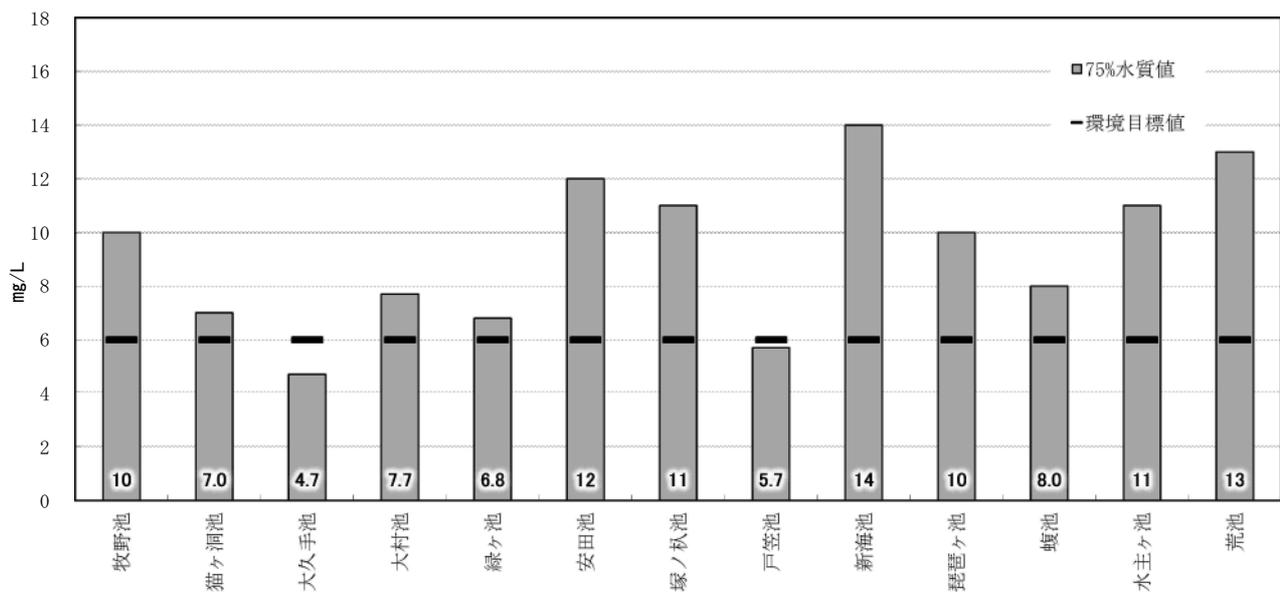
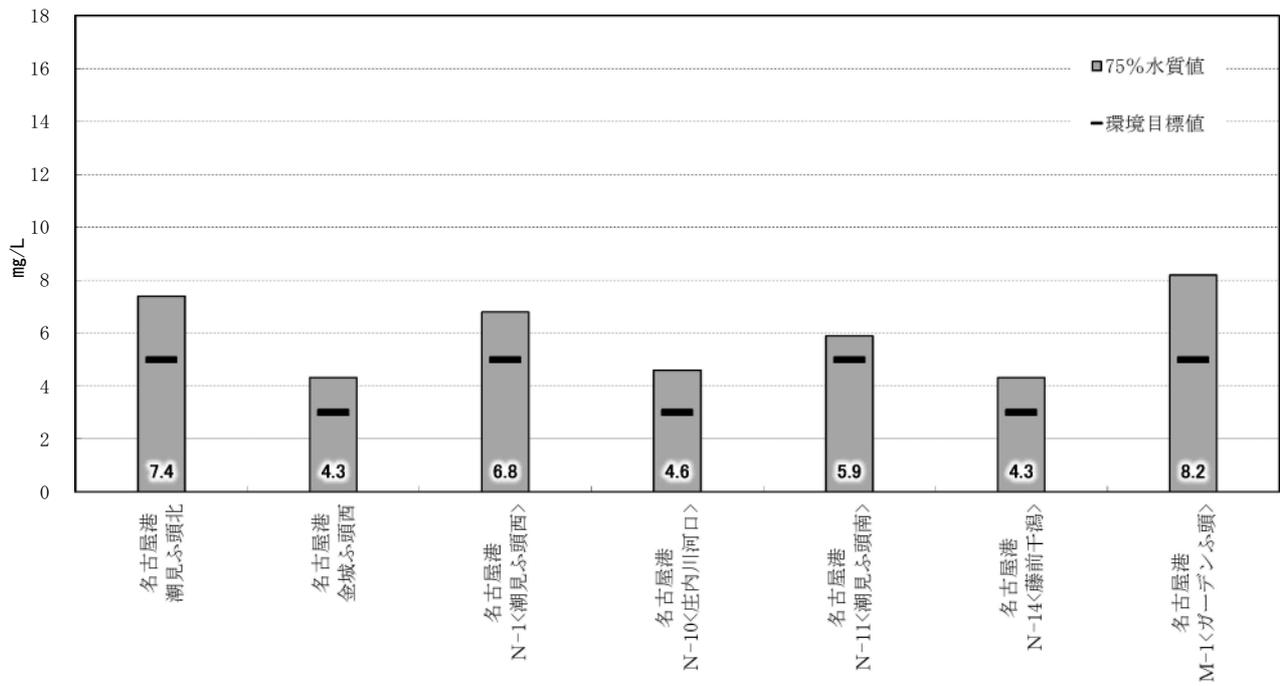


図1-4 (3) 75%水質値 (COD) と環境目標値

表1-5 75%水質値（河川はBOD、海域はCOD）一覧表

(単位：mg/L)

	水域名	調査地点	75%水質値（年度）									
			平成 22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
河川	荒子川	境橋	2.3	2.3	3.7	3.3	4.1	3.7	4.4	1.5	3.0	4.3
		荒子川ポンプ所	6.0	5.6	5.6	9.5	7.4	5.8	4.7	5.4	8.9	5.9
	中川運河	東海橋	8.9	11	6.8	7.0	10	8.2	9.7	7.6	6.8	17
	堀川	猿投橋	3.2	2.2	2.6	2.8	2.0	1.5	1.3	1.8	2.4	2.1
		小塩橋	3.3	3.3	5.2	3.4	5.1	6.0	3.4	4.3	3.2	3.1
		港新橋	4.9	4.8	4.8	5.8	5.2	4.2	6.5	5.8	4.2	8.7
	新堀川	日の出橋	6.1	5.0	3.4	3.8	5.6	4.6	6.0	4.8	3.9	5.4
	山崎川	鼎（かなえ）橋	1.0	0.9	1.8	1.5	1.8	1.5	1.4	1.8	1.6	1.6
		道徳橋	4.2	5.9	5.7	5.8	7.8	3.4	8.1	5.1	3.2	7.3
	天白川	天白橋	5.4	3.5	6.6	5.8	7.1	2.9	3.2	4.3	5.5	3.5
		千鳥橋	5.4	3.2	4.0	5.6	4.6	2.8	3.7	3.9	2.9	2.6
	植田川	植田橋	2.0	1.4	2.5	1.8	2.0	1.9	1.5	2.8	2.1	2.0
	扇川	鳴海橋	1.7	1.1	2.0	1.7	1.8	1.1	1.8	1.5	1.2	2.0
	鞍流瀬川	梶田橋	7.5	8.2	7.6	11	9.1	8.9	8.7	5.6	5.0	3.9
	庄内川	大留橋	2.4	1.5	1.5	1.8	1.3	1.5	1.4	1.5	1.1	1.3
		水分橋	7.6	3.7	3.8	3.4	3.1	3.1	2.9	3.5	3.8	4.6
		枇杷島橋	3.7	3.1	4.1	3.3	2.7	2.9	2.7	3.0	3.4	4.1
		庄内新川橋	5.5	2.1	2.6	2.0	2.2	2.5	1.5	2.6	1.5	2.3
	矢田川	大森橋	6.4	6.2	7.1	6.5	7.1	5.7	7.5	5.1	7.6	7.4
		天神橋	5.1	4.4	4.0	4.1	3.5	3.0	3.1	3.1	3.7	3.4
香流川	香流橋	3.4	2.2	3.4	3.0	2.7	2.9	2.3	3.0	3.2	3.1	
新川	比良新橋	2.9	3.7	3.2	3.7	2.6	2.1	3.2	3.0	3.3	2.4	
	* 萱津橋	3.7	3.2	4.0	3.2	3.4	3.0	3.4	3.5	5.0	3.8	
	日の出橋	1.8	1.9	2.8	2.1	2.2	1.6	2.0	2.3	2.6	1.5	
戸田川	新東福橋	9.6	12	11	10	9.9	8.3	8.0	9.7	12	13	
福田川	新西福橋	4.7	4.4	5.2	5.8	4.9	4.2	4.5	3.8	5.2	4.9	
海域	名古屋港	潮見ふ頭北	5.3	3.6	5.8	4.3	9.5	6.6	6.0	4.1	2.8	7.4
		金城ふ頭西	3.8	2.7	5.5	3.5	4.3	4.0	3.0	3.3	3.0	4.3
		N-1<潮見ふ頭西>	4.2	4.6	7.1	3.5	6.0	5.1	5.3	4.0	3.7	6.8
		N-10<庄内川河口>	3.9	3.5	7.3	3.1	4.5	3.8	3.6	4.3	3.6	4.6
		N-11<潮見ふ頭南>	4.8	3.8	5.3	3.0	6.0	4.3	3.6	4.0	3.4	5.9
		N-14<藤前干潟>	—	—	—	4.2	5.8	4.3	3.8	3.5	3.0	4.3
		M-1<ガーデンふ頭>	4.7	5.2	7.9	4.6	8.3	4.8	4.3	4.8	3.1	8.2
		* N-2	4.0	3.8	4.5	4.4	3.6	4.2	4.5	3.7	3.8	4.8
		* N-3	3.7	3.3	3.7	3.7	3.7	3.1	3.6	3.3	3.4	4.1

注 \*印については市外調査地点ではあるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

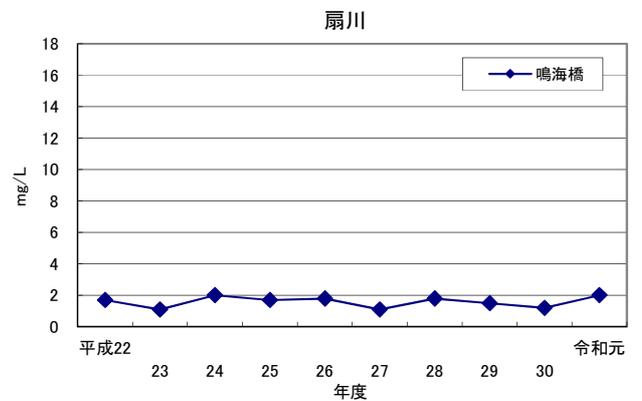
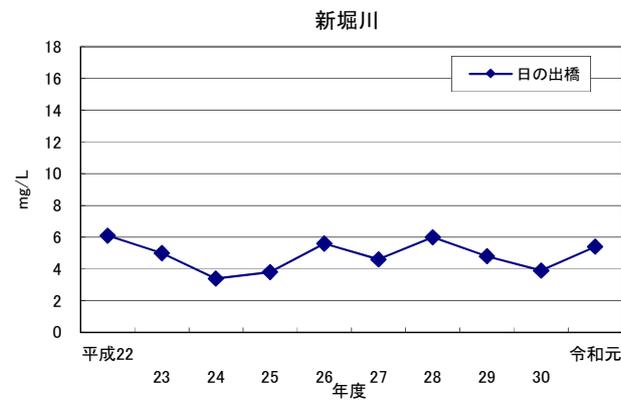
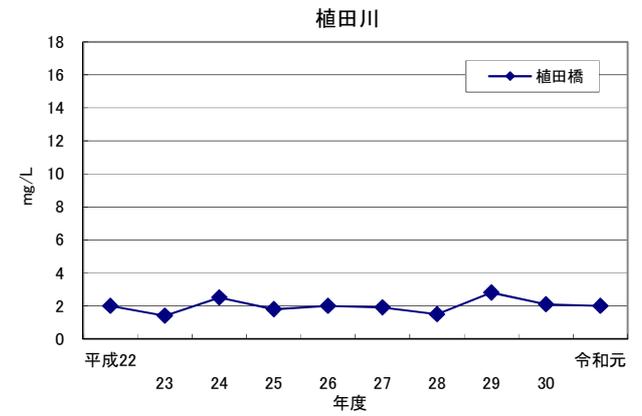
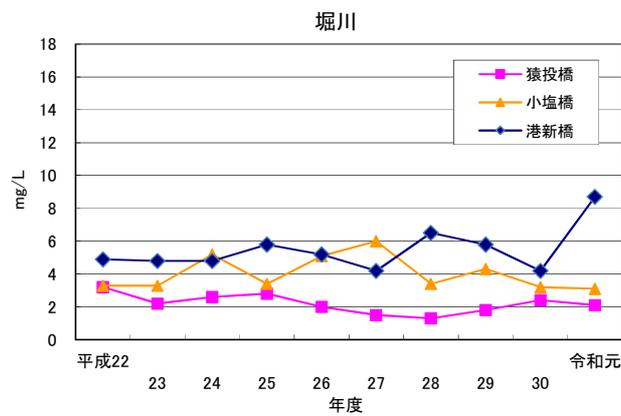
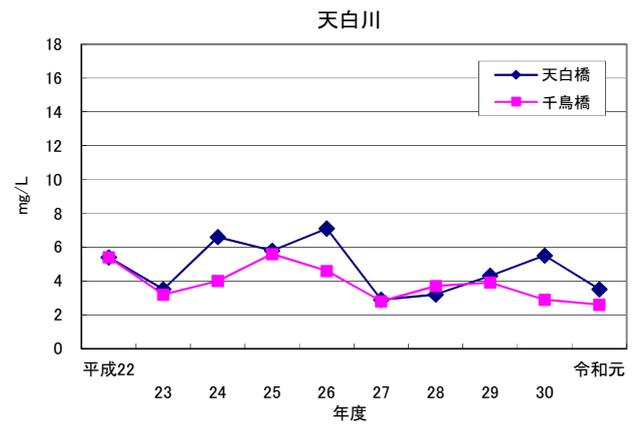
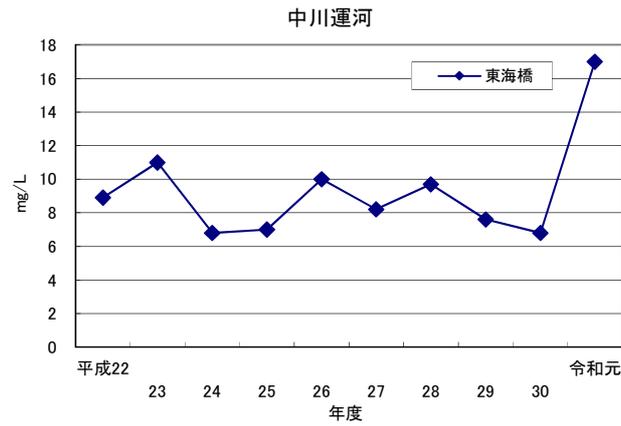
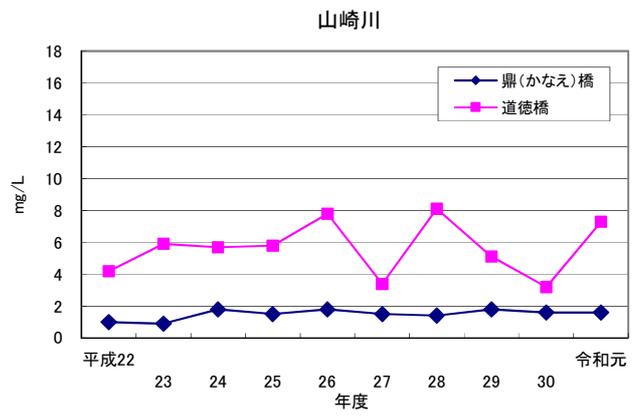
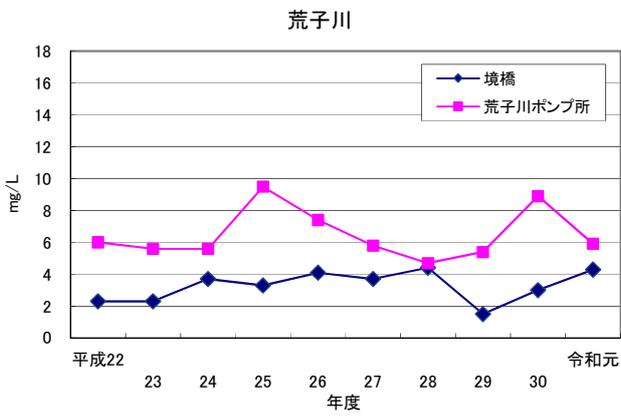
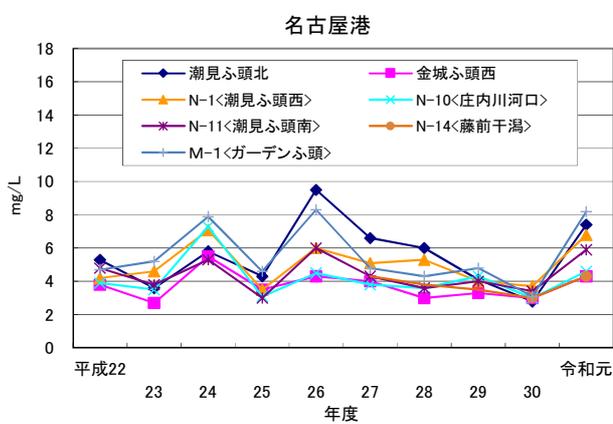
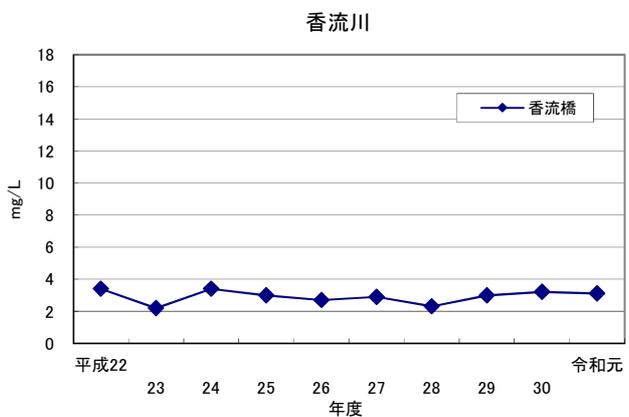
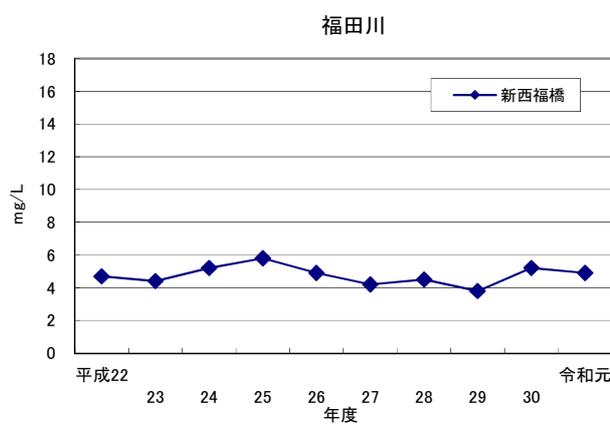
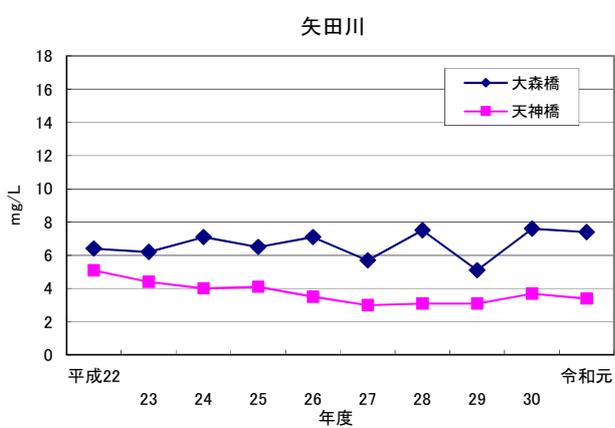
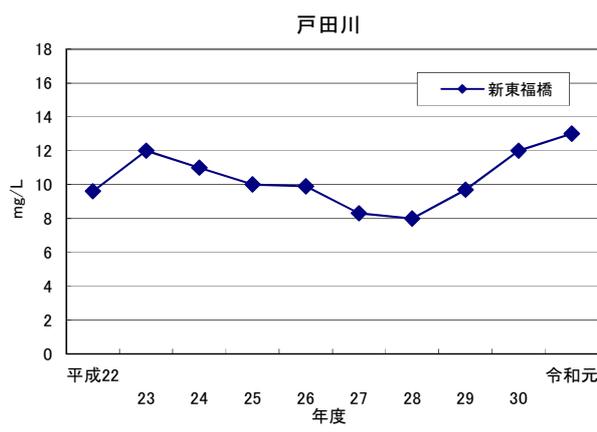
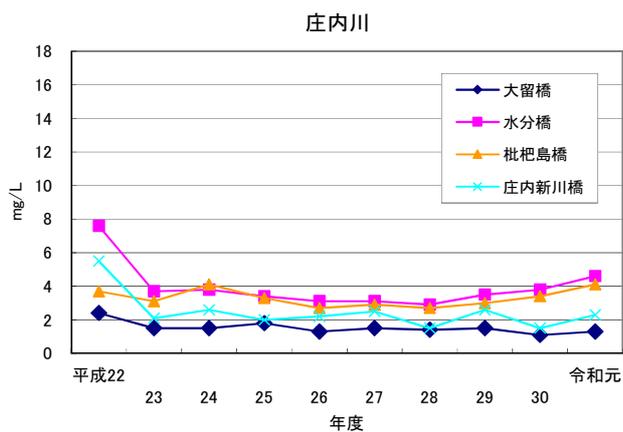
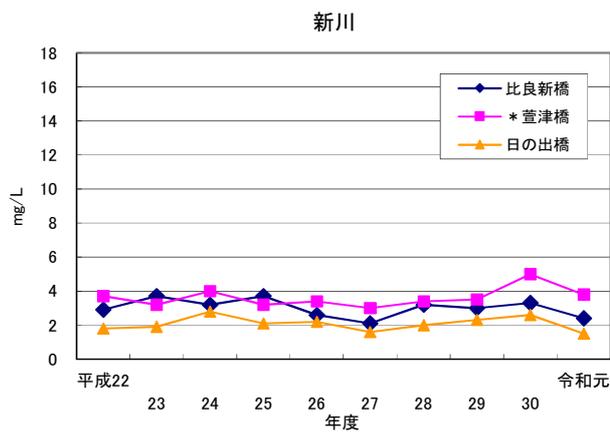
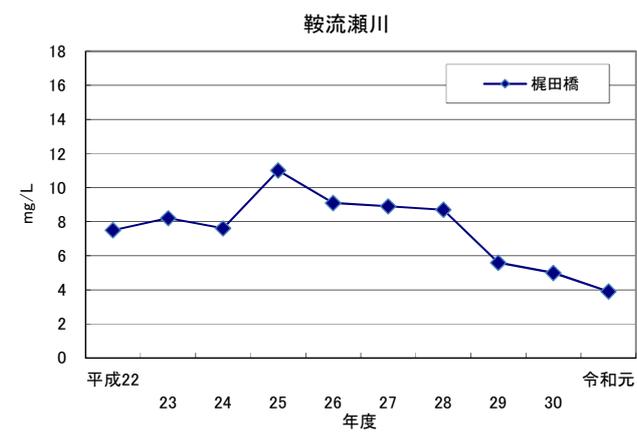


図1-5 (1) 75%水質値 (河川はBOD、海域はCOD) の経年推移



注 \*印については市外調査地点であるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

図1-5 (2) 75%水質値 (河川はBOD、海域はCOD) の経年推移

表1-6 pH及びDOの環境基準適合率

(単位: %)

調査地点	類型	項目 年度	pH			DO		
			平成29	30	令和元	平成29	30	令和元
荒子川	E	荒子川ポンプ所	50	42	33	100	100	100
中川運河	E	東海橋	75	67	42	100	100	100
堀川	D	港新橋	100	100	100	100	100	100
山崎川	D	道德橋	100	100	100	92	92	92
天白川	C	千鳥橋	100	100	100	92	67	75
庄内川中流(2)	D	大留橋	100	100	92	100	100	100
		水分橋	100	100	100	100	100	100
庄内川下流	D	枇杷島橋	100	100	100	100	100	100
矢田川上流	D	大森橋	100	100	100	100	100	100
矢田川下流	D	天神橋	100	92	92	100	100	100
名古屋港(甲)	C	N-1<潮見ふ頭西>	83	92	58	100	100	100

注 適合率 =  $\frac{\text{環境基準に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

表1-7 pH及びDOの環境目標値適合率

(単位: %)

調査地点	区分	項目 年度	pH			DO		
			平成29	30	令和元	平成29	30	令和元
荒子川	☆☆☆	境橋	100	100	100	100	92	92
堀川	☆☆☆	猿投橋	100	100	100	100	100	100
		小塩橋	100	100	100	75	50	58
新堀川	☆	日の出橋	100	100	100	67	50	50
山崎川	☆☆☆	鼎(かなえ)橋	100	100	100	100	100	100
天白川	☆☆	天白橋	100	92	100	100	100	100
植田川	☆☆☆	植田橋	100	100	100	100	100	100
扇川	☆☆☆	鳴海橋	100	100	100	83	100	92
鞍流瀬川	☆	梶田橋	100	100	100	100	100	100
庄内川	☆☆	庄内新川橋	100	100	100	100	100	83
香流川	☆☆	香流橋	100	100	100	100	100	100
新川下流	☆☆	比良新橋	100	100	100	100	100	92
		日の出橋	100	100	100	92	75	75
戸田川	☆	新東福橋	50	33	17	100	100	100
福田川	☆☆	新西福橋	100	100	100	100	75	83
名古屋港	☆	潮見ふ頭北	67	83	50	100	100	100
	☆☆	金城ふ頭西	100	67	83	67	50	83
	☆☆	N-10<庄内川河口>	83	58	67	92	92	100
	☆	N-11<潮見ふ頭南>	100	83	75	100	83	100
	☆☆	N-14<藤前干潟>	42	50	58	92	83	83
	☆	M-1<ガーデンふ頭>	75	75	75	83	92	100

注 適合率 =  $\frac{\text{環境目標値に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

表1-8 海域における全窒素・全燐の環境基準達成状況

(単位：mg/L)

水域名	環境基準 類型	調査 地点	全窒素						全燐							
			環境 基準	経年変化（年度）			達成状況（年度）			環境 基準	経年変化（年度）			達成状況（年度）		
				平成 29	30	令和 元	平成 29	30	令和 元		平成 29	30	令和 元	平成 29	30	令和 元
伊勢湾 (イ)	IV	N-2	1 以下	0.85	0.83	1.2	○	○	○	0.09 以下	0.095	0.090	0.13	○	○	○
		N-3		0.60	0.54	0.53					0.069	0.060	0.061			
		N-4		0.42	0.41	0.43					0.053	0.048	0.046			
		平均		0.62	0.59	0.72					0.072	0.066	0.079			

注1 データは、表層の年間平均値である。

注2 N-2、3、4は市外調査地点であるが、全窒素及び全燐に係る環境基準点であり、環境基準の達成状況はこの平均値で評価した。

表1-9 海域における全窒素・全燐の環境目標値達成状況

(単位：mg/L)

調査地点	全窒素						全燐							
	環境 目標 値	経年変化（年度）			達成状況（年度）			環境 目標 値	経年変化（年度）			達成状況（年度）		
		平成 29	30	令和 元	平成 29	30	令和 元		平成 29	30	令和 元	平成 29	30	令和 元
潮見ふ頭北	1 以下	1.4	1.1	1.3	×	×	×	0.09 以下	0.099	0.12	0.14	×	×	×
金城ふ頭西		1.1	1.1	1.2	×	×	×		0.11	0.12	0.13	×	×	×
N-1<潮見ふ頭西>		1.2	1.1	1.3	×	×	×		0.097	0.11	0.14	×	×	×
N-10<庄内川河口>		1.2	1.3	1.2	×	×	×		0.13	0.14	0.15	×	×	×
N-11<潮見ふ頭南>		1.0	1.0	0.9	○	○	○		0.099	0.10	0.11	×	×	×
N-14<藤前干潟>		1.1	0.90	1.0	×	○	○		0.14	0.13	0.14	×	×	×
M-1<ガーデンふ頭>		1.2	1.3	1.6	×	×	×		0.11	0.13	0.19	×	×	×

注 データは表層の年間平均値である。

表1-10 全亜鉛・ノニルフェノール・LASの環境基準達成状況

(単位: mg/L)

水域名	環境基準類型	調査地点	項目	環境基準	経年変化(年度)			達成状況(年度)		
					平成29	30	令和元	平成29	30	令和元
荒子川	生物B	荒子川ポンプ所	全亜鉛	0.03以下	0.015	0.015	0.010	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00014	0.00014	0.00015	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0099	0.0062	0.0049	○	○	○
中川運河	生物B	東海橋	全亜鉛	0.03以下	0.032	0.026	0.027	×	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00008	0.00008	0.00014	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0055	0.0016	0.0010	○	○	○
堀川	生物B	港新橋	全亜鉛	0.03以下	0.029	0.028	0.026	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00009	0.00016	0.00015	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0054	0.013	0.010	○	○	○
山崎川	生物B	道徳橋	全亜鉛	0.03以下	0.022	0.020	0.023	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00008	0.00010	0.00012	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0074	0.017	0.011	○	○	○
天白川	生物B	千鳥橋	全亜鉛	0.03以下	0.023	0.019	0.019	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00014	0.00023	0.00015	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.021	0.011	0.0033	○	○	○
庄内川	生物B	大留橋	全亜鉛	0.03以下	0.007	0.011	0.009	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			LAS	0.05以下	<0.0006	0.0015	0.0009	○	○	○
		水分橋	全亜鉛	0.03以下	0.011	0.012	0.022	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0009	0.0065	0.0080	○	○	○
		枇杷島橋	全亜鉛	0.03以下	0.013	0.017	0.019	○	○	○
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	<0.00006	<0.00006	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0011	0.0035	0.0049	○	○	○
矢田川	生物B	大森橋	全亜鉛	0.03以下	0.023	0.16	0.077	○	×	×
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00007	0.00051	0.00025	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.012	0.011	0.013	○	○	○
		天神橋	全亜鉛	0.03以下	0.017	0.026	0.036	○	○	×
			ノニルフェノール	0.002以下	<0.00006	0.00009	<0.00006	○	○	○
			LAS	0.05以下	0.0009	0.0063	0.0083	○	○	○

(単位：mg/L)

水域名	環境基準 類型	調査地点	項目	環境基準	経年変化（年度）			達成状況（年度）		
					平成 29	30	令和 元	平成 29	30	令和 元
新川下流	生物 B	* 萱津橋	全亜鉛	0.03以下	0.029	0.028	0.038	○	○	×
			ノニルフェノール	0.002以下	0.00009	0.00011	0.00008	○	○	○
			L A S	0.05以下	0.031	0.019	0.017	○	○	○
伊勢湾(イ)	生物 特A	N-14 〈藤前干潟〉	全亜鉛	0.01以下	0.009	0.007	0.007	○	○	○
			ノニルフェノール	0.0007以下	0.00011	0.00010	0.00012	○	○	○
			L A S	0.006以下	0.0018	0.0007	0.0016	○	○	○

注 \*印については市外調査地点であるが、市内水域の環境基準点であるため掲載している。

表1-11 ふん便性大腸菌群数の環境目標値適合率

(単位：%)

水域名	地域区分	調査地点	適合率（年度）		
			平成29	30	令和元
荒子川	☆☆☆	境 橋	92	100	100
堀川	☆☆☆	猿投橋	75	67	75
		小塩橋	42	58	58
山崎川	☆☆☆	鼎(かなえ)橋	33	67	67
植田川	☆☆☆	植田橋	58	75	92
扇川	☆☆☆	鳴海橋	83	100	83
庄内川	☆☆☆	大留橋	75	100	75

注 適合率 =  $\frac{\text{環境目標値に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

表1-12 健康項目に係る環境基準及び水の安全性に関する項目に係る環境目標値の達成状況

測定項目	調査地点数	検体数	環境基準・環境目標値	
			達成地点数	超過検体数
カドミウム	26	75	26	0
全シアン	25	71	25	0
鉛	26	83	26	0
六価クロム	25	71	25	0
砒素	26	55	26	0
総水銀	21	63	21	0
アルキル水銀	6	6	6	0
P C B	18	18	18	0
ジクロロメタン	25	55	25	0
四塩化炭素	25	55	25	0
1,2-ジクロロエタン	25	55	24	4
1,1-ジクロロエチレン	25	55	25	0
シス-1,2-ジクロロエチレン	25	55	25	0
1,1,1-トリクロロエタン	25	55	25	0
1,1,2-トリクロロエタン	25	55	25	0
トリクロロエチレン	25	55	25	0
テトラクロロエチレン	25	55	25	0
1,3-ジクロロプロペン	25	55	25	0
チウラム	24	53	24	0
シマジン	24	53	24	0
チオベンカルブ	24	53	24	0
ベンゼン	25	55	25	0
セレン	24	53	24	0
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	21	55	21	0
ふっ素	14	21	14	0
ほう素	14	21	14	0
1,4-ジオキサン	25	68	25	0
延べ合計数		1,424		4

表1-13 要監視項目の測定地点数及び検体数

測定項目	調査地点数	検体数	検出範囲 (mg/L)	指針値 (mg/L)
ホルムアルデヒド	5	5	<0.003~0.005	—
ニッケル	6	12	0.001~0.010	—
モリブデン	6	12	<0.007~0.007	0.07 以下
アンチモン	6	12	<0.002	0.02 以下
エピクロロヒドリン	2	21	<0.00004~0.0038	0.0004 以下
全マンガン	7	9	<0.02~0.08	0.2 以下
4-tert-オクチルフェノール	12	12	<0.00003~0.00005	—
アニリン	12	12	<0.002	—
2,4-ジクロロフェノール	12	12	<0.0003	—
延べ合計数		107		

表1-14 特殊項目の測定地点数及び検体数

測定項目	調査地点数	検体数	検出範囲 (mg/L)
フェノール類	13	28	<0.01~0.01
銅	10	22	<0.01
鉄 (溶解性)	5	12	<0.01~0.08
マンガン (溶解性)	5	12	0.01~0.09
クロム	10	21	<0.01
延べ合計数		95	

(7) 底質調査結果

河川名		堀川	天白川	庄内川	名古屋港	
調査地点		港新橋	千鳥橋	庄内新川橋	N-1 〈潮見ふ頭西〉	
測定項目						
一般項目	気 温 (°C)	27.6	26.8	35.2	27.5	
	泥 温 (°C)	22.5	24.4	30.0	23.0	
	臭 気	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	
	強 熱 減 量 (%)	8.3	9.8	2.0	12.2	
	含 水 率 (%)	56.4	57.1	26.9	73.5	
	酸化還元電位 (mV)	-380	-330	-270	-400	
	粒 度 分 布	礫 (2mmメッシュ以上) (%)	0.2	0.1	<0.1	<0.1
		砂質 (63μmメッシュ以上) (%)	47.2	27.0	91.3	10.5
		泥質 (%)	52.5	72.7	8.7	89.4
	p H	7.6	7.6	7.1	7.7	
	C O D (mg/g)	33	37	5.9	33	
	全 硫 化 物 (mg/g)	3.5	3.5	0.11	1.8	
	ヨウ素消費量 (mg/g)	20	22	—	18	
	健康項目	カドミウム (ppm)	3.9	0.61	0.08	0.86
全 シ ア ン (ppm)		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
鉛 (ppm)		140	43	11	53	
砒 素 (ppm)		13	7.4	2.1	10	
総 水 銀 (ppm)		0.83	0.18	0.03	0.38	
アルキル水銀 (ppm)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
P C B (ppm)		0.37	0.03	<0.01	0.07	
特殊項目	フェノール類 (ppm)	<0.1	<0.1	0.1	0.6	
	銅 (ppm)	300	80	15	94	
	亜 鉛 (ppm)	830	460	100	430	
	ク ロ ム (ppm)	380	70	14	93	
	全 窒 素 (ppm)	1,500	2,000	560	1,600	
	全 燐 (ppm)	700	460	180	510	

調査年月日は、以下のとおり

令和元年6月20日：堀川（港新橋）、天白川（千鳥橋）、名古屋港（N-1〈潮見ふ頭西〉）

令和元年9月11日：庄内川（庄内新川橋）

(8) 名古屋港内の底層の溶存酸素濃度調査結果

(単位：mg/L)

調査地点	調査月 採取位置	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	最小	最大
① 潮見ふ頭北	底層	11	—	5.9	—	5.5	—	5.3	—	6.4	—	7.0	—	6.9	5.3	11
	(表層)	14	—	17	—	14	—	8.4	—	6.8	—	7.8	—	11	6.8	17
	(中層)	12	—	11	—	8.2	—	6.9	—	6.7	—	7.3	—	8.7	6.7	12
② N-1 潮見ふ頭西	底層	6.4	9.7	4.5	3.3	11	2.3	4.5	5.3	6.3	7.3	6.1	5.1	6.0	2.3	11
	(表層)	14	12	14	14	10	14	7.4	7.7	6.9	9.0	8.5	6.7	10	6.7	14
	(中層)	9.5	7.0	6.1	3.9	5.8	13	6.1	6.4	6.1	7.9	8.0	5.2	7.1	3.9	13
③ N-10 庄内川河口	底層	6.7	6.5	4.6	4.2	3.4	3.2	4.2	4.9	6.8	7.7	6.8	5.4	5.4	3.2	7.7
	(表層)	8.0	10	6.7	6.8	12	6.7	6.2	8.0	8.6	8.8	9.2	6.4	8.1	6.2	12
	(中層)	7.0	6.6	5.2	4.3	10	5.7	5.6	6.4	6.7	7.9	7.3	5.4	6.5	4.3	10
④ N-11 潮見ふ頭南	底層	8.1	7.8	5.6	3.8	4.6	3.7	4.7	4.9	6.1	6.8	7.7	7.7	6.0	3.7	8.1
	(表層)	8.6	12	13	7.4	11	12	7.0	6.1	7.0	6.8	7.9	8.0	8.9	6.1	13
	(中層)	9.1	10	7.3	4.2	7.2	7.4	5.5	5.7	6.6	7.0	8.0	8.0	7.2	4.2	10
⑤ M-1 ガーデンふ頭	底層	6.2	6.2	3.8	0.8	<0.5	0.8	2.4	3.7	5.3	6.2	5.4	3.9	3.8	<0.5	6.2
	(表層)	10	15	14	12	12	14	7.8	7.6	5.9	10	9.0	6.3	10	5.9	15
	(中層)	6.7	7.6	6.0	3.7	5.6	5.9	4.8	4.3	6.3	7.1	7.5	5.7	5.9	3.7	7.6
⑥ 金城ふ頭西	底層	7.9	—	5.4	—	4.6	—	4.0	—	6.5	—	7.6	—	6.0	4.0	7.9
	(表層)	7.5	—	6.1	—	6.5	—	4.4	—	7.3	—	8.3	—	6.7	4.4	8.3
	(中層)	7.6	—	5.8	—	4.7	—	4.3	—	6.5	—	7.7	—	6.1	4.3	7.7

注 1 底層の調査結果は網掛けで示した。

2 表層は水面下0.5m、中層は水面下5.0m、底層は海底上0.5mで測定している。

<調査位置図>



(9) 荒子川における1,2-ジクロロエタンの環境調査結果について

ア 令和元年度調査結果

(単位：mg/L)

調査地点名	5月	8月	11月	2月	年間平均値
荒子川ポンプ所	0.0074	0.0055	0.025	0.015	0.013

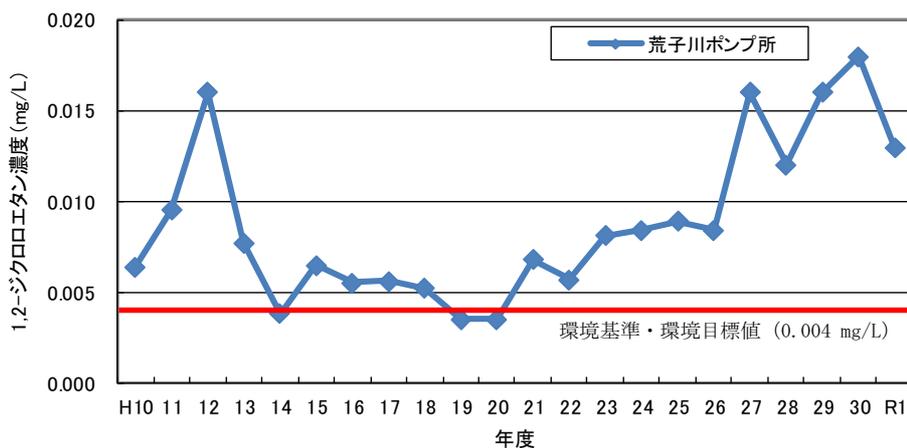
※網掛けは環境基準・環境目標値 (0.004mg/L) を超過

イ 経年結果 (環境基準超過以降)

(単位：mg/L)

年 度	年間平均値	年 度	年間平均値
平成 10	0.0064	平成 21	0.0068
平成 11	0.0095	平成 22	0.0057
平成 12	0.016	平成 23	0.0081
平成 13	0.0077	平成 24	0.0084
平成 14	0.0038	平成 25	0.0089
平成 15	0.0065	平成 26	0.0084
平成 16	0.0055	平成 27	0.016
平成 17	0.0056	平成 28	0.012
平成 18	0.0052	平成 29	0.016
平成 19	0.0035	平成 30	0.018
平成 20	0.0035	令和元	0.013

※網掛けは環境基準・環境目標値 (0.004mg/L) を超過



<参考>

荒子川北中島橋付近での令和元年度水質調査結果（1,2-ジクロロエタン）  
（単位：mg/L）

調査地点名		9月	11月	2月
河川 底層水	①右岸北 25m	0.0020	0.10	0.0088
	②No. 1 観測井横	0.0030	0.10	0.086
	③No. 3 観測井横	0.0019	0.22	0.24
	④橋中央	0.0069	0.27	0.26
	⑤No. 4 観測井横	0.010	0.087	0.14
地下 水	⑥No. 1 観測井	3.6	2.1	0.0080
	⑦No. 3 観測井	6.3	6.4	160
	⑧No. 4 観測井	0.16	7.5	9.6
	⑨No. 2 観測井	170	140	46



ウ 今後の対応

引き続き、環境科学調査センターと他の研究機関等とで共同して1,2-ジクロロエタンの浄化について調査・研究を行い、その結果を踏まえて浄化対策を検討する。

## 2 水質環境目標値市民モニタリング調査結果

本市では、水質環境目標値の一部に感覚を重視した「親しみやすい指標」を設けている。

市民一人ひとりが河川やため池の状況を観察しながら水質改善活動に取り組むきっかけとなるよう、「親しみやすい指標」を用いた市内の河川及びため池の調査を市民モニターグループが行っている。

### (1) 調査期間

春季調査	平成31年4月～令和元年5月	夏季調査	令和元年6月～8月
秋季調査	令和元年9月～11月	冬季調査	令和元年12月～令和2年2月

### (2) 調査項目

水質環境目標値のうち「親しみやすい指標」である、下記の項目について調査した。

河川 (5項目)	水のにごり(透視度)、水の色、水のおい、ごみ、水の流れ
ため池 (4項目)	水のにごり(透視度)、水の色、水のおい、ごみ

注 親しみやすい指標の内容及び地域区分は資料3を参照

### (3) 調査の方法

市民モニター(春季・夏季:33グループ134名、秋季・冬季:32グループ132名)が担当の調査地点において、原則、各季に1回、下記の方法で現地調査を行った。

ア 水のにごり(透視度):100cmの透視度計を用いた測定

イ 水の色、水のおい、ごみ、水の流れ

目視、においを嗅ぐなど感覚によって表1-15の選択肢を選ぶ方法

表1-15 調査項目と環境目標値適合の判断基準

項目	調査結果(選択肢)	河川			ため池	
		☆☆☆	☆☆	☆	☆☆	☆
水のにごり (透視度)	70cm以上	○	○	○	○	○
	50cm以上70cm未満	×	○	○	○	○
	30cm以上50cm未満	×	×	○	×	○
	30cm未満	×	×	×	×	×
水の色	1:ほとんど無色	○	○	○	○	○
	2:着色はあるが、正常の範囲	○	○	○	○	○
	3:異常な着色がある	×	×	×	×	×
水のおい	1:顔を近づけても不快でない	○	○	○	○	○
	2:水際に寄っても不快でない	×	○	○	○	○
	3:橋や護岸で不快でない	×	×	○	×	×
	4:橋や護岸にいただけで不快	×	×	×	×	×
ごみ	1:ごみは見あたらない	○	○	○	○	○
	2:よく見ればわずかにごみがある	×	○	○	○	○
	3:ごみがあるが、不快というほどではない	×	○	○	○	○
	4:ごみがあってやや不快	×	×	×	×	×
	5:ごみがあって大変不快	×	×	×	×	×
水の流れ	1:十分である	○	○	○	/	
	2:特に気にならない	○	○	○		
	3:改善すべきだと思う	×	×	×		



### (5) 調査結果及び目標値適合状況

市内の河川及びため池を調査した結果、河川においては「水のにごり（透視度）」及び「ごみ」の適合率が低く、ため池においては「水のにごり（透視度）」の適合率が低い状況であった。

表1-16 親しみやすい指標による目標値適合状況（河川）

河川名	地点番号	調査地点	地域区分	地点別適合率*	水のにごり (透視度) 単位:cm					水の色 1:ほとんど無色 2:着色はあるが、正常の範囲 3:異常な着色がある				
					春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
荒子川	1	境橋	☆☆☆	80	100	70	100	100	70	1	1	1	1	2
	2	荒子川ポンプ所	☆	100	49	59	37	45	30	2	2	2	2	
中川運河	3	東海橋	☆☆	80	13	20	45	26	50	2	2	2	2	
堀川	4	猿投橋	☆☆☆	95	92	55	100	100	70	1	1	1	1	
	5	小塩橋	☆☆☆	95	38	77	75	83	70	2	2	1	1	
	6	港新橋	☆☆	90	23	32	57	80	50	1	2	2	1	
新堀川	7	日の出橋	☆	95	19	59	30	40	30	2	2	2	2	
山崎川	8	鼎(かなえ)橋	☆☆☆	90	100	100	72	100	70	1	1	1	1	
	9	道德橋	☆	100	97	73	60	63	30	1	1	2	1	
植田川	10	植田橋	☆☆☆	80	78	90	85	100	70	2	1	1	1	
天白川	11	天白橋	☆☆	89	35	100	94	—	50	1	1	1	1	
	12	千鳥橋	☆☆	85	64	53	73	88	50	3	2	2	1	
扇川	13	上汐田橋	☆☆☆	80	65	92	45	81	70	1	1	1	1	
鞍流瀬川	14	梶田橋	☆	100	100	40	90	75	30	1	1	1	1	
庄内川	15	松川橋	☆☆☆	80	100	100	100	100	70	1	1	2	1	
	16	水分橋	☆☆	90	39	49	93	98	50	1	2	2	1	
	17	枇杷島橋	☆☆	95	37	74	85	75	50	1	1	1	1	
	18	庄内新川橋	☆☆	80	34	31	29	16	50	1	1	1	2	
矢田川	19	大森橋	☆	100	50	35	100	80	30	1	1	1	1	
	20	天神橋	☆	95	52	100	100	100	30	1	1	1	1	
香流川	21	香流橋	☆☆	100	100	100	88	81	50	1	1	2	2	
新川	22	比良新橋	☆☆	65	35	65	85	94	50	2	1	2	1	
	23	日の出橋	☆☆	65	30	17	36	21	50	1	2	2	1	
戸田川	24	新東福橋	☆	80	28	26	23	28	30	2	2	2	2	
福田川	25	新西福橋	☆☆	70	30	45	55	35	50	1	1	2	1	
項目別適合率*					68					99				

注、凡例

数字

数字

数字は調査結果  
網掛は目標値に適合していないことを示す

\*適合率=適合したデータ数/全データ数  
(適合率は小数点以下を切り捨て)

水のおい					水の流れ					水の流れ				
1:顔を近づけても不快でない 2:水際に寄っても不快でない 3:橋や護岸で不快でない 4:橋や護岸にいただけで不快					1:ごみは見あたらない 2:よく見ればわずかにごみがある 3:ごみがあるが、不快というほどではない 4:ごみがあってやや不快 5:ごみがあってたいへん不快					1:十分である 2:特に気にならない 3:改善すべきだと思う				
春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
1	1	1	1	1	3	2	2	2	1	1	2	2	2	2
1	2	1	1	3	3	3	1	2	3	2	2	1	1	
1	1	1	1	2	1	1	2	1	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1	1	1	1	2	3	1	2	3	3	1	1	2	2	
3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	1	1	
1	1	1	1	3	2	2	3	2	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	3	4	3	4	1	1	2	2	2	
1	1	1	3	2	1	1	1	2	3	2	2	2	2	
1	3	1	3	2	1	2	3	2	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	2	2	
1	1	1	1	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	2	2	2	3	1	2	1	1	2	
1	1	1	1	2	1	2	2	2	3	1	1	1	2	
1	1	1	1	2	3	1	2	1	3	2	2	1	1	
1	1	1	1	2	1	1	1	1	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
1	1	1	2	3	3	2	1	5	3	1	1	1	1	
1	1	2	1	2	1	2	1	2	3	1	1	1	2	
2	3	3	3	2	2	4	4	5	3	2	2	2	2	
2	2	2	1	2	4	5	3	4	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	
1	1	1	1	2	4	4	3	4	3	2	2	2	2	
94					74					100				

表1-17 親しみやすい指標による目標値適合状況（ため池）

地点 番号	調査地点	地域 区分	地点別 適合率*	水のごり (透視度) 単位:cm				目標値	水の 色				目標値
				春季	夏季	秋季	冬季		春季	夏季	秋季	冬季	
26	牧野池	☆☆	100	73	74	80	76	50	2	2	2	1	2
27	猫ヶ洞池	☆☆	81	40	53	31	23		1	2	2	2	
28	大久手池	☆☆	75	—	20	10	18		—	2	2	2	
29	大村池	☆☆	75	24	17	8	8		2	2	2	2	
30	緑ヶ池	☆☆	81	79	73	20	48		2	2	3	1	
31	安田池	☆☆	81	40	25	31	77		1	2	2	1	
32	塚ノ杵池	☆☆	93	79	60	46	50		2	2	2	2	
33	新海池	☆☆	87	45	51	52	58		2	1	2	1	
34	琵琶ヶ池	☆☆	75	26	28	19	24		2	2	2	2	
35	蝮池	☆☆	75	26	40	11	31		1	2	2	2	
項目別適合率*				35				97					

注、凡例

数字

数字

数字は調査結果  
網掛は目標値に適合していないこと  
を示す

\*適合率=適合したデータ数/全データ数  
(適合率は小数点以下を切り捨て)

水のおい					ごみ				
1:顔を近づけても不快でない 2:水際に寄っても不快でない 3:橋や護岸で不快でない 4:橋や護岸にいるだけで不快					1:ごみは見あたらない 2:よく見ればわずかにごみがある 3:ごみがあるが、不快というほどではない 4:ごみがあってやや不快 5:ごみがあってたいへん不快				
春季	夏季	秋季	冬季	目標値	春季	夏季	秋季	冬季	目標値
1	1	1	1	2	2	1	1	1	3
1	1	1	1		1	1	2	1	
—	1	1	1		—	2	2	2	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	1	1	1		1	2	2	1	
1	1	1	2		1	1	1	1	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	2	4	1		2	2	2	2	
1	1	1	1		1	1	1	1	
1	1	1	1		1	1	1	1	
97					100				

(6) 親しみやすい指標による目標値適合率

表 1-18 河川における適合率一覧表

(単位：%)

項 目	適合率（年度）									
	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
水のごり(透視度)	83	69	72	61	68	69	76	72	71	68
水の色	97	95	97	96	99	100	98	99	97	99
水のおい	94	93	91	88	91	94	91	92	93	94
ごみ	78	70	75	67	71	70	78	77	72	74
水の流れ	93	97	99	94	94	96	94	98	98	100

表 1-19 ため池における適合率一覧表

(単位：%)

項 目	適合率（年度）									
	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元
水のごり(透視度)	31	36	9	6	25	22	25	42	42	35
水の色	98	97	90	97	97	100	100	100	100	97
水のおい	100	100	100	100	100	100	95	95	100	97
ごみ	98	88	87	90	95	97	100	95	100	100

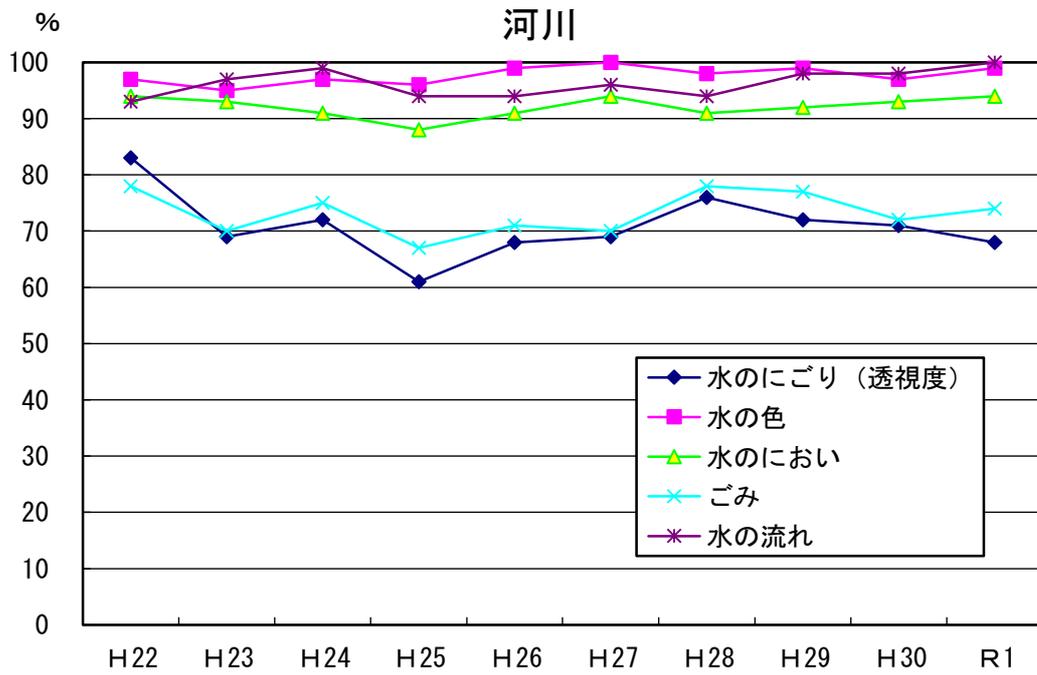


図 1-7 河川における適合率経年推移

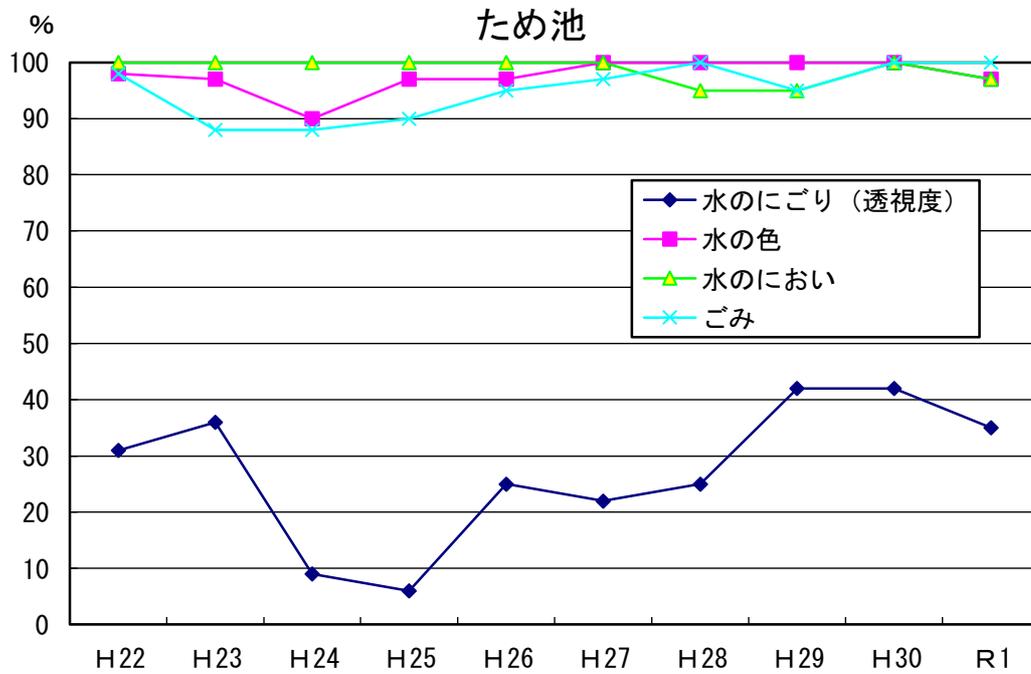


図 1-8 ため池における適合率経年推移